

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、板屋圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和6年2月19日（月）10時から11時30分まで
参加者	委員：17人 事務局：9人
場所	福祉交流センター 大会議室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 地域包括支援センター板屋圏域協議体 会長</p> <p>3. 協議内容</p> <p>① 前回の振り返り 生活支援コーディネーターより説明。</p> <p>② CSW 事例報告 CSW より対応しているケースと、また認知症の人も参加しているマンションで実施している住民向けのサロンについて報告した。</p> <p>③ 地域包括支援センターより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座について 認知症サポーター養成講座、認知症サポーターキャラバンについて、あらためてその仕組みについて詳しく説明した。 認知症サポーターは「なにか」特別なことをやる人ではなく、認知症の人や家族を見守る「応援者＝サポーター」であることについて認識してもらった。</li> <li>・家族会について 認知症の方を介護する家族同士が集える場をつくろうという思いから開催した介護者家族交流会の様子について報告。</li> </ul> <p>④ 浜松市高齢者福祉課より 「浜松市認知症高齢者等に優しいお店・事業所」認証事業とオレンジメールについて説明。</p> <p>⑤ 避難所での認知症の人と家族支援について 認知症は人や急激な環境の変化についていけない病気であることから、災害時の避難所でどんなことに気を付けなければならないのか、災害時の避難所で認知症の人と家族支援ガイドを用いて情報提供した。</p> <p>⑥ グループワーク</p> <p>【今後の協議体としての活動展開の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「浜松市認知症高齢者等に優しいお店・事業所」認証事業 →板屋圏域で認証店を増やしていく！ ※増やしていくことがゴールではなく、認知症に理解ある人を増やしていくことで認知症に優しいまちを目指していく</li> <li>・認知症サポーター養成講座の実施 →各地区のシニアクラブや地区社協等</li> <li>・認知症に関する講座の実施</li> </ul> <p>上記について、4グループに分かれて意見交換を行った。</p>

	<p>4. 事務連絡</p> <p>5. 閉会 地域包括支援センター板屋圏域協議体 副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>今回の会議では、認知症に優しい店認証事業の説明や包括からの認知症サポーター養成講座やキャラバンについての説明を通して地域で行う認知症の周知活動について話し合った。認知症サポーター養成講座や認知症に関する講座を地域で行ってほしいという意見も多くあがった。今後、認知症に関する講座の実施や認証店の普及について地域からの要望に応じて協力し、また必要な情報提供を行えるよう取り組んでいきたい。</p>